



教育と子育ての違い、安全基地、「ちゃんと」のノロイ

1月30日は新入学児童の1日入学と保護者への入学説明会でした。学年の保護者の方全員に学校からお話ができる機会はこの1回だけです。ここで何をお伝えするのかを絞り込みました。したがって、お話は毎年同じで一番大切にしたい内容になります。(2年前にも学校だよりでお伝えしました)6年間の大庭小学校生活で大切にしたいことは次の3点です。

①将来の自立のために自律と自己決定を大切にしましょう。

②みんなの幸福のために誰もが大切にされる学校を目指します。

③安全基地としてのご家庭であってください。

①の将来の自立が教育と子育ての最上位の目標です。そして学校教育では将来の自立に向けて必要な力をつけるべく「できること」を目指します。家庭の「子育て」は、同じ子どもを育てるとはいえ、役割が違います。家庭の役割は第一に安全基地であってほしいと③では次のように話しました。



1日入学で2年生が新1年生をエスコートしています。

家庭の役割は・・・やはり安心して過ごす場、**安全基地**ということでしょう。早起きして朝ごはんを食べさせ、夜は早めに寝て明日に備える。子どもの話に耳を傾ける。**聞くことは認める**ということです。学校でも大切にします。自分が大切な存在であるという**自尊感情**を日々の暮らしの中で感じさせてやってください。安心できる環境から、子どもは自分の力で伸びていきます。

特別支援教育を専門とされる赤木和重(神戸大学大学院)さんは、家庭は「気持ちよく過ごす」ことや安心して楽しい「安楽さ」が大切と言っています。

私たちは、子どものためを思って「ちゃんと」することを求めます。しかし、それが過剰な「正義」となった場合、「親子ともに気持ちよく過ごす」ことが消えていきます。でも、家庭って、本来ちゃんとしなくてもいい場所でもありますよね。家庭でちゃんとしなくていいことで、職場や学校・園で頑張るエネルギーを充電することができますし、家庭でちゃんとしなくていいからこそ、外ではちゃんとできるものです。
「子育てのノロイをほぐす」より

この「ちゃんと」が「こうあるべき」「こうしなければならない」という子育てのノロイとなって保護者を縛ってしまうと赤木さんは言います。

ご家庭の方針は、ご家庭の数だけあって当然です。学校からこうしてくださいとお伝えするものではないと思っています。それでも、家庭あつての学校です。家庭は「気持ちよく」「安心で」「楽しい」安全基地であってほしいと思い、筆をとりました。

もし、ご家庭で子育てに困っているといったことがありましたら、ご相談ください。必要な福祉の専門家や専門機関にお繋ぎすることもできます。すぐメールでお知らせした就学援助についてもご遠慮なくお問い合わせください。保護者の方が気持ちよく過ごせることが子どもたちにとっても何より大切なことです。これからも①子どもの成長を支える②学校と③家庭でありたいと強く願います。

〈ご連絡〉今年度は全学年書初めコンクールへの出品はしておりません。ご連絡が遅くなりましたことお許しください。